



神田外語グループが 11 月 30 日(土)に 「第 8 回全国学生英語プレゼンテーションコンテスト」を開催 -- 5 月 29 日(水)よりエントリー受付中

神田外語大学・神田外語学院を擁する神田外語グループ（学校法人佐野学園／東京都千代田区／理事長 佐野元泰）は 11 月 30 日（土）、読売新聞社と共催で「第 8 回全国学生英語プレゼンテーションコンテスト」を開催します。これは、グローバル化が進むビジネスの現場で必要とされるコミュニケーションスキルの向上と、学生同士の真剣勝負の場を提供することを目的としているもの。対象は大学生、大学院生、短期大学生、高等専門学校生、専門学校生。現在エントリーを受け付けており、応募締め切りは個人の部が 10 月 21 日（月）、グループの部が 10 月 22 日（火）までとなっております。

同コンテストは、グローバル化が進む日本国内外のビジネスの現場における、英語を使って表現する機会の増加を鑑み、実践的に応用できるコミュニケーションスキルの向上と、学生同士の真剣勝負の場を提供することを目的としています。

なかでも、「問題を発見し、解決策を簡潔にまとめ、提案する能力の育成」や「英語を使い、相手に訴えかけ、理解を得る表現力の醸成」「グローバル時代の就業能力を育成」など、学生のうちから海外に目を向け、国際的な産業競争力や国際交流を支える基幹的な「グローバルに活躍する人材の育成」を目指しています。

前回第 7 回大会は、北海道から沖縄まで全国の大学、大学院、短期大学、専門学校、合計 165 校から過去最高の 759 名の応募がありました。最優秀賞の文部科学大臣賞には、国際基督教大学の江島恵莉さん、上智大学の大坪直央さん、奥はんさんの 3 名が選ばれ、賞状のほか副賞として奨学金 100 万円、ANA 国際線（米国線）往復航空券、AOKI 商品券 5 万円分、トロフィーなどが贈られました。

同コンテストは文部科学省大臣賞の対象事業であり、第 4 回大会以降、大会の趣旨に賛同するグローバルな人材の育成を目指す企業の協賛、協力等も年々増え、公共性の高いものへと成長しています。

第 8 回のプレゼンテーションテーマは「外国人の若者を日本へ！ワーホリ計画を提案」「世界を救え！食品ロスの削減を提案」「ジェンダー問題を考えるワークショップを提案！」から 1 つを選択。コンテストの実施概要は下記の通りです。

◆第 8 回全国学生英語プレゼンテーションコンテスト 概要

【主催】 神田外語グループ、読売新聞社

【応募期間】

個人の部： 2019 年 5 月 29 日(水)～10 月 21 日(月)

グループの部： 2019 年 5 月 29 日(水)～10 月 22 日(火)

【応募資格】 文部科学省が定める大学、大学院、短期大学、専門学校及び 4 年次以上の高等専門学校に在籍するフルタイム学生。ただし英語を母国語とする学生、及び英語圏就学経験者(留学を含む)が 13 か月を超える学生、また日本国内にある外国人学校(インターナショナルスクール等を含み、主に英語により授業が行われる教育施設)で就学した学生は対象外とする。

【応募方法】 下記コンテストサイトからエントリー

<http://www.kandagaigo.ac.jp/contest/>

【2 次予選・本選開催日時】 2019 年 11 月 30 日(土) 午前：2 次予選 午後：本選

【場所】・2 次予選／神田外語学院(東京都千代田区内神田 2-13-13)

<http://www.kandagaigo.ac.jp/kifl/access/>

・本選／よみうり大手町ホール(東京都千代田区大手町 1-7-1)

<http://yomi.otemachi-hall.com/>



【2次予選・本選および授賞式スケジュール】(予定)

- 09:20 2次予選開始
- 11:40 2次予選終了
- 13:10 開会式／本選出場者発表／審査員紹介
- 13:30 本選開始
- 17:20 本選終了
- 17:50 表彰式
- 19:00 閉会

【競技概要】

- 競技構成：競技は「個人の部」と「グループの部」の2部構成とする。
- 参加単位：「個人の部」では1名、「グループの部」では2名もしくは3名を1単位とする。応募にあたってはいずれかの部を選択すること。
- 予選：応募データをもとに1次予選を行う。大会当日は1次予選通過者を対象に2次予選を実施し、本選進出者を決定する。
- 課題：大会において定められた課題の中から一つを選択し、英語でプレゼンテーションを行う。
- 使用言語：英語(質疑応答も英語による)
- 制限時間：10分以内。質疑応答のための時間は別途5分以内とする。制限時間を超過した場合は、得点を10%減点する。さらに1分以上超えた場合は失格とする。
- 機器等の使用：大会当日にプレゼンテーションに用いるパソコン等の機器は参加者が用意すること。ただし、パソコン画面の投影は、会場備え付けのプロジェクタを使用し、会場にてハンドアウト等を配布することは認めない。

【プレゼンテーションテーマ】

課題：「世界に目を向け思考する」

次の中から一つを選択し、プレゼンテーションを行う。

<テーマ>

- (1)外国人の若者を日本へ！ワーホリ計画を提案
- (2)世界を救え！食品ロスの削減を提案
- (3)ジェンダー問題を考えるワークショップを提案！

【審査員長】(予定)

沼田 貞昭 氏／日本英語交流連盟会長、元駐カナダ・パキスタン大使

【審査員】

現在、調整中

【表彰】(予定)

- 文部科学大臣賞<最優秀賞>(個人の部、グループの部を総合して1名<組>)
文部科学大臣賞状、奨学金100万円、トロフィー、ジャパン・ニュース購読(半年分)、読売新聞社海外支局インターンシップ参加権利(希望者)ほか
- 優秀賞(個人の部より1名、グループの部より1組)
奨学金30万円、賞状、トロフィー、ジャパン・ニュース購読(半年分)ほか
- インプレッシブ賞<審査員特別賞>(個人の部より1名、グループの部より1組)
奨学金20万円、賞状、トロフィー、ジャパン・ニュース購読(半年分)ほか
- 奨励賞(上記受賞者以外の本選進出者より数名<組>)を予定
奨学金5万円ほか
- トップ50賞(得点上位50名<組>)
TOP50 証明書ほか
- ホープ賞(2次予選出場者全員に)
大会参加証ほか

【後援】

文部科学省／外務省／米国大使館／一般社団法人国立大学協会／一般社団法人公立大学協会／
日本私立大学団体連合会／公益社団法人東京都専修学校各種学校協会／一般社団法人全国外国語教育振興協会
一般社団法人日本ワーキング・ホリデー協会／特定非営利活動法人国連ウィメン日本協会

【協賛】 (2019年6月13日現在)

株式会社フジタ／株式会社関電工

▼前回大会(第7回)開催の様子**▼本件に関する報道関係の方の問い合わせ先**

学校法人佐野学園 学園広報部

TEL: 03-3258-5837 (平日 9:00~17:30)

FAX: 03-5298-4123

E-mail: media@kandagaigo.ac.jp